

西暦 2023 年 10 月 16 日

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報の公開について

当センターでは、下記の研究を実施しております。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、研究対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、情報を公開することにより実施しております。この研究に関するお問い合わせ、研究参加への拒否依頼などがありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

## 記

研究機関名	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター
研究課題名	双胎経膈分娩における無痛分娩の分娩転帰に対する影響
研究代表者 氏名・所属部署	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 山本瑠美子 産科
研究対象者 (研究対象者等が自身が対象者であると容易に知り得るように記載)	2016 年 1 月から 2024 年 12 月に、妊娠 34 週以降に両児が生存した状態で経膈分娩を試みた双胎妊婦。
研究期間	研究実施許可後～2025 年 12 月
研究目的・方法 (意義、目的、方法、試料等の二次利用等)	無痛分娩は単胎経膈分娩では帝王切開の頻度は上昇させませんが、器械分娩（吸引分娩・鉗子分娩）の頻度を上昇させることが知られています。しかし、双胎分娩における無痛分娩の分娩への影響は十分に検討されていません。本研究では無痛分娩が双胎経膈分娩において母児に与える影響を明らかにすることで、今後の診療に役立てることができます。 研究対象となる方の診療録から情報収集を行い、統計的解析を行います。個人情報の保護のために診療録の情報は匿名化の上で取り扱います。また、研究成果の公表に関しては個人が特定されることはありません。
研究に用いられる試料・情報の項目や種類	診療録情報（年齢、経産回数、体外受精、身長、分娩時体重、妊娠高血圧症候群の有無、耐糖能異常の有無、膜性、陣痛様式、分娩週数、後続児の胎位、分娩様式、出生体重、新生児仮死の有無、分娩時出血量、輸血の有無）
研究計画書などの研究関連資料の入手方法、または閲覧方法	本研究の研究対象者（等）が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手、または閲覧ができます。下記の間合せ先までご連絡ください。
個人情報の開示に係る手続き	本研究の研究対象者（等）から、個人情報の開示の求めがあった場合、保有する個人情報のうちその本人に関するものに限って、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとりますので、下記の間合せ先までご連絡下さい。
照会先および研究への利用を拒	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター 産科 山本瑠美子 電話 0725-56-1220（代表）

否する場合の連 絡先	
---------------	--